

一巡したeラーニング講座

— 5年間で累計5,443人が延べ10,989講座を受講

平成19年度に消費生活アドバイザー更新研修に導入された、インターネットを利用した「eラーニング講座」。本年度で5年になり、消費生活アドバイザーの資格更新対象者に向けたeラーニング講座の実施が一巡しました。さらなる普及に向け、eラーニング講座の概要を紹介します。「いつでも」「どこでも」受講できるeラーニング講座に、是非チャレンジしてください。

インターネット上で見る・聞く「電子紙芝居」

平成23年度のeラーニング講座の受講期間は、8月4日(木)から24日(水)までの21日間でした。インターネットにアクセスできない方、あるいは、受講期間中に回線、受講用のPCのトラブル等でインターネット上での学習ができない場合に対し、学習内容を収録したDVD-Rの貸出しも行いました。

インターネット上での学習方法は、本年度も、従来と同様に所定の学習サイトにアクセスし、ID(受講者番号)とパスワードでログインして学習を開始します。PCのモニターにはプレゼンテーション用の静止画が映し出され、それに合わせ解説の音声流れる、いわば「電子紙芝居」です。

本年度は、これに音声の“早送り(キュー)”“巻き戻し(レビュー)”の機能を付加したシステムを採用し、「今聞いた部分をもう一度聞きたい」といった場合に便利になりました。この機能は、動画を扱える“Flash”という技術を使い、表示画面そのものは静止画ですが、音声再生機能をさらに便利にしたものです。“Flash”対応のコンテンツの再生には、Adobe社から無料で配布されている“Flash Player”が必要になります。多くの市販PCにはこのソフトがあらかじめインストールされていますが、今回は、学習の開始に当たって、受講者のPCにFlash Playerがインストールされているかどうかを簡単に判定する機能を組み込み、これを経て、学習開始へと進むようにしました。

本年度の受講者数

本年度の実施講座は4講座で、昨年度実施の学習



ログイン画面

コンテンツ中のデータ等をアップデートしたり、一部、画面表示の改善を図るなどのマイナーチェンジをしたりしました。受講者は合計1,125人、受講講座は合計2,585講座(1人平均2.3講座)となり、講座ごとの受講者数は次のとおりです。

- インターネット時代の通信販売 '11
697人(構成比 27.0%)
- インターネット時代の知的財産 '11
581人(構成比 22.5%)
- 改正特商法、改正割販法のポイント
579人(構成比 22.4%)
- 私たちの暮らしと省エネルギー '11
728人(構成比 28.2%)

各講座の構成比は、毎年20%台で推移していますが、本年度は「私たちの暮らしと省エネルギー」が昨年度より、5.3ポイントアップしました。今夏の「節電」に対する関心の高まりが反映されたものと推察されます。

eラーニング講座、5年のあゆみ

平成19年度、2講座でスタートしたeラーニング講座は、平成20年度3講座、平成21年度からは4講座と、単年度で資格更新に必要な4単位を取得できるようになりました。

〈受講者数、受講講座の推移〉

- 平成19年度 実施講座数2講座
受講者 946人、合計1,420講座
- 平成20年度 実施講座数3講座
受講者 1,051人、合計1,987講座

- 平成21年度 実施講座数4講座
受講者1,216人、合計2,533講座
- 平成22年度 実施講座数4講座
受講者1,105人、合計2,464講座
- 平成23年度 実施講座数4講座
受講者1,125人、合計2,585講座

定着した集合講座からの受講変更受け付け

平成21年度は、新型インフルエンザの流行により、集合講座への出席を心配する受講者が発生。この年、急遽、集合講座からeラーニング講座への変更を受け付ける対応を取りました。翌平成22年度からは、集合講座を欠席した場合、その理由を問わずeラーニング講座への変更を受け付けることとし、あらかじめ案内いたしました。本年度は、この制度により、集合講座からeラーニング講座への変更手続きをした受講者が119人(eラーニング講座受講者の10.6%)で、集合講座欠席者へのセーフティネット機能が果たされているといえます。

申込み後のキャンセル

eラーニング講座は、一般の通信販売同様に、お試し期間を設けて返品を受けると同趣旨の体制を敷いています。すなわち、受講料の払込み期限を受講開始後に決めました。実際に学習サイトにアクセスしたものの、システムの相性等で動作しなかったり、不安定だったりした場合、eラーニング講座の受講を見送ること(キャンセル)ができるようにしてあります(ただし、受講料払込み後のキャンセルは受け付けておりません)。インターネット接続、PCのOSやブラウザ等が不安でeラーニング講座をためらわれている方はご心配ありませんので、是非、チャレンジしてみてください。なお、実際にログインして学習をしたものの、所定の期日までに受講料の支払いがない場合は、受講をキャンセルしたことになります。

このような状況で、受講者のご負担、ご心配を軽減することに取り組んでいますが、資格更新に必要な単位取得が予定どおりにできない場合に備え、余裕を

もって5年の期間中での単位取得を計画されることをお願いいたします。

eラーニング講座の課題と今後の展望

(1) 学習講座数の増加

単年度で資格更新に必要な単位数を単年度で取得できる状態ではありますが、学習面から見ると講座数が少なく、選択の幅が限られています。講座数の増加、学習内容等、受講者の意向を反映し、eラーニング講座の充実を図ることが、第二クール(次の5年間)の課題であります。

また、学習コンテンツの制作についても工夫が求められるところです。双方向性、アニメーションの活用など学習意欲を喚起するしくみの導入には、費用がかかりeラーニング事業の収支バランスを見ての判断になります。

(2) eラーニングシステムの使いやすさ

IT技術の進展は目覚ましいものがあります。eラーニングの普及に伴い、専門業者が市場にリリースするシステムも多様化しています。

当協会は、委託事業者の選定にあたって、毎年、入札により技術、操作、運営管理等を総合的に評価し委託事業者を選定しています。

〈委託事業者〉

- 平成19年度 (株) 富士通ビジネスシステムズ
- 平成20年度 NTTラーニングシステムズ (株)
- 平成21年度 NTTラーニングシステムズ (株)
- 平成22年度 (株) 日本マンパワー
- 平成23年度 (株) 富士通ラーニングメディア

なお、委託した企業のシステムにより、画面表示、操作方法に違いがあります。幅広い層の方々に受講していただきたく、操作方法の簡便化、受講結果を容易に確認できる等、システムの改善に努めているところです。

(平成23年9月、日本産業協会eラーニング講座担当)